

補助事業番号 28-1-082
補助事業名 平成28年度 検診車の整備 補助事業
補助事業者名 一般社団法人 中部地区医師会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

中部地区医師会検診センターでは、平成27年度においては年間約4万人の胸部X線検査を4台の検診車で行った。その内の1台は、平成3年に沖縄県中部保健所(当時コザ保健所)にて導入された検診車で、平成11年末より本会に貸し出され使用してきたところ、保健所では検診車で胸部X線撮影は行わないとのことから、平成21年度に当会に譲渡されました。しかしながら製造から25年が経過しており、老朽化による車両や空調装置の損傷が激しく、加えて間接フィルムでの撮影であるため、これを現像する機器の製造も終了していることから、デジタル撮影への移行が急務であった。今回の事業ではその老朽化した検診車を更新するとともに、最新のデジタル撮影装置を導入し、疾病の早期発見及び予防を図り、引き続き公益の増進に寄与することを目的とする。

(2) 実施内容

胸部X線デジタル検診車

(http://www.chubu-ishikai.or.jp/cma_public/download/JKA%E3%80%80%E8%A3%9C%E5%8A%A9%E4%BA%8B%E6%A5%AD%E5%AE%8C%E4%BA%86%E5%A0%B1%E5%91%8A%EF%BC%88%E3%81%8A%E7%9F%A5%E3%82%89%E3%81%9B%EF%BC%89.pdf)



胸部X線デジタル検診車 (側面)



胸部X線デジタル検診車 (背面)

(別紙5)



コントロールパネル



撮影台

平成28年度競輪補助事業 胸部X線デジタル検診車 3つの特徴

- ① **胸部X線骨組織透過ソリューション** (X線画像から肋骨、鎖骨等のごね組織を透過させ、肺組織の視認性を高める画像処理システム)
- ② **胸部X線経時差分ソリューション** (現在、過去に撮影された2枚の画像を重ね合わせ、経時差分処理により過去と現在の画像変化を確認できるシステム)
- ③ **検診時は蓄電池で稼働** (エンジン音による騒音、排気ガスは一切発生しません。)

上記により、医師の行う読影作業が軽減されるとともに、視認性が高まることで精度の向上にもつながります。また検診時には蓄電池で稼働することにより、エンジン音による騒音に加え、排気ガスも発生しないため、環境を配慮した検診車となっている。

2 予想される事業実施効果

これまでのアナログ撮影(間接撮影)からデジタル撮影と最新の撮影機器を搭載した検診車を整備することができ、精度も大幅に向上したことから、地域における肺がん及び結核等、胸部疾患の早期発見が迅速、的確、効率的に行え、地域住民の健康保持、増進の一翼を担う検診車として、これから果たす役割には多大なものがある。

尚、平成29年度においては、出動回数200回、1日平均100名、計22,000名の検診を予定している。

3 印刷物等

本事業に係る印刷物等

中部地区医師会機関紙 中部地区医師会ニュース

(別紙5)

http://www.chubu-ishikai.or.jp/cma_public/download/JKA%E3%80%80%E8%A3%9C%E5%8A%A9%E4%BA%8B%E6%A5%AD%E5%AE%8C%E4%BA%86%E5%A0%B1%E5%91%8A%EF%BC%88%E3%81%8A%E7%9F%A5%E3%82%89%E3%81%9B%EF%BC%89.pdf

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般社団法人中部地区医師会 (イッパソシヤダソホクジン チュウブチクイシカイ)

住 所： 〒904-0113

沖縄県北谷町字宮城 1-584

代 表 者： 会長 中 田 安 彦 (ナカダ ヤスヒコ)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 次長 玉 城 満 (タマキ ミツル)

電 話 番 号： 098-936-8201

F A X： 098-936-8207

E - m a i l： m-tamaki@chubu-ishikai.or.jp

U R L： http://www.chubu-ishikai.or.jp/cma_public/